

早稲田大学 法学部 国語 解答例

(一)
問一 ロ
問二 ニ
問三 ニ
問四 イ
問五 イ
問六 ハ
問七 ホ

(二)
問八 所_下 以 尽_二 人 謀_一 而 通_中 下 情_上
問九 ホ
問十 イ
問十一 ハ

(三)
問十二 A || 所与 B || 多岐
問十三 a || ロ b || ニ c || ホ d || ハ
問十四 ロ
問十五 ハ
問十六 ロ
問十七 イ
問十八 イ
問十九 ホ

(四)
問二十 ハ
問二十一 イ
問二十二 ハ
問二十三 イ
問二十四 ニ
問二十五 ニ

他者との軋轢の内在を認識しつつ、他者を客体化する暴力を禁じるケアの倫理に基づき、脆弱な存在が救済されている平和を求めて、身体性を捨象する自律的主体という抽象的な思考を批判し、暴力に満ち、無力な者たちが無価値であると扱われ傷つけられている現状を具体的に公的に語る母的思考の実践知によって、断ち切られた人びとの間に家族を超えた絆を結び直し、共同体を再建すること。(179字)